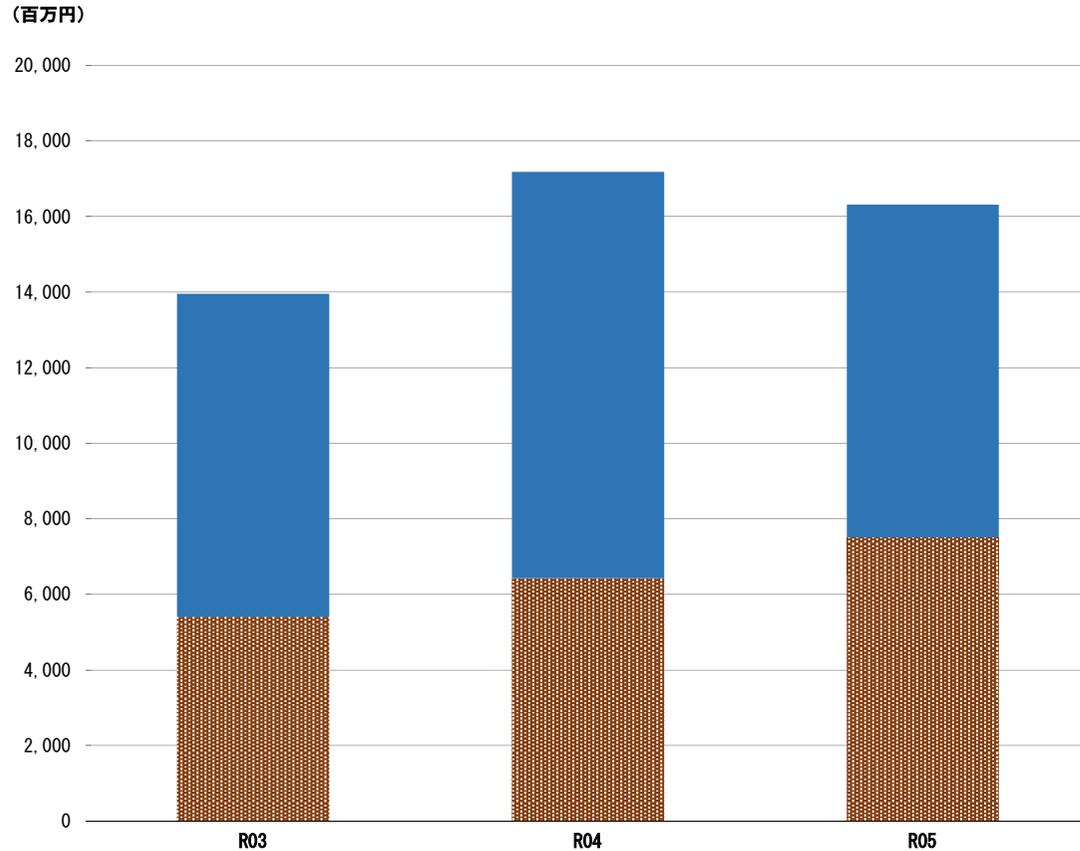


# (11) 基金残高（東日本大震災分を含む）に係る経年分析（市町村）



区分	年度	R03	R04	R05
財政調整基金		5,404	6,429	7,515
減債基金		-	-	-
其他特定目的基金		8,551	10,756	8,807
公共建築物保全基金		3,741	3,747	3,752
学校施設整備基金		-	1,540	2,017
鉄道駅周辺整備基金		3,415	3,590	1,949
地球温暖化対策基金		-	500	487
一般廃棄物処理施設整備基金		1,021	1,022	260
基金残高合計		13,955	17,185	16,322

令和5年度

愛知県東海市

## 基金全体

（増減理由）

財政調整基金は、大規模建設事業への取り崩し額が7.4億円、災害復旧費分への取り崩し額が2.3億円に対し、決算剰余金による積立が17.7億円、決算剰余金以外の積立て額が2.9億円となったことによる。

その他の特定目的基金は、一般廃棄物処理施設整備基金が7.6億円の取崩し、公共建築物保全基金が6.1億円の積立て及び6.0億円の取崩し、鉄道駅周辺整備基金が16.5億円の取崩し、学校施設整備基金が4.8億円の積立となったことによる。

（今後の方針）

今後必要となる公共施設の大規模修繕や養父森岡線街路整備事業、新駅周辺等整備、一般廃棄物処理施設整備に係る財源として、個々の特定目的基金を取り崩すことを予定している。

## 財政調整基金

（増減理由）

大規模建設事業の財源として7.4億円、災害復旧事業へ2.3億円を取り崩した一方、歳入増により決算剰余金として17.7億円、決算剰余金以外の積立てとして2.9億円を積み立てたため、10.9億円増となった。

（今後の方針）

財政調整基金の残高は、標準財政規模の10%から15%を適正規模と考え、概ね20%以内の範囲内とし今後は、大規模建設事業の実施に伴い、減少を見込んでいる。

## 減債基金

（増減理由）

該当なし

（今後の方針）

積立予定なし

## 其他特定目的基金

（基金の用途）

公共建築物保全基金：公共建築物の大規模修繕のため

学校施設整備基金：大規模施設整備の資金に充てるため

鉄道駅周辺整備基金：養父森岡線街路整備及び新駅周辺等整備のため

地球温暖化対策基金：温室効果ガスの排出の量の削減並びに吸収作用の保全及び強化のため

一般廃棄物処理施設整備基金：知多市と東海市が共同で設置する新ごみ処理施設の整備のため

（増減理由）

公共建築物保全基金：公共建築物の大規模修繕に係る財源として、6.0億円取り崩すとともに、一般財源から6.0億円積み立てたことによる差引きにより増減は概ねなし。

学校施設整備基金：一般財源から4.7億円積み立てたことによる4.8億円の増

鉄道駅周辺整備基金：新駅整備費用に係る財源として、16.5億円取り崩したことによる16.4億円の減

地球温暖化対策基金：温室効果ガスの排出の量の削減等の活動に係る事業の財源として、0.1億円の減

一般廃棄物処理施設整備基金：知多市と東海市が共同で設置する新ごみ処理施設の整備に係る財源として、7.6億円取り崩したことによる7.6億円の減

（今後の方針）

公共建築物保全基金：公共建築物の大規模修繕の財源として、毎年度3億円程度を基本として取り崩す予定

学校施設整備基金：10年間で4校の建替えができる金額（約31億円）を目標に積立し、事業の実施に応じて適宜取り崩す予定。

鉄道駅周辺整備基金：養父森岡線街路整備事業や新駅周辺等整備事業が令和8年度まで事業を実施することから、それまでの各年度に必要な一般財源分を取り崩す予定

地球温暖化対策基金：2050年度の二酸化炭素の排出実質ゼロを目指して5億円を基準に適宜積立し、事業の実施に応じて適宜取り崩す予定。